特集

訪問リハビリテーション再検証

12-18 1
訪問リハビリテーションの現状と展望
—平成 27 年度介護報酬改定後の検証を中心に
●宮田昌司

20-26 2
リハビリテーションマネジメント
—医師との協働を中心として
●齋藤正美

28-33 3
地域包括ケアの中の訪問リハビリテーション
—多職種協働の視点から
●内藤麻生

34-39 4
養成校における訪問リハビリテーションの教育の現状と課題
●大浦智子

40-46 5
卒後の訪問リハビリテーションの教育の再検証
●鈴木　修

わが国の高齢者対策「地域包括ケアシステム」の中で，訪問リハの役割は非常に重要視されている。一方，医師などとの多職種連携やリハビリテーションマネジメント強化，活動と参加へのアプローチなど，さらなる質の向上が求められており，現場でのスタッフ育成のみならず養成校など教育機関での卒前教育も不可欠である。本特集を通じて，訪問リハの現状と，今後のあるべき姿を考えていきたい。

企画担当●宮田昌司（一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会，理学療法士）

©MIWA-SHOTEN Ltd, 2017

2026/09/14 03:52:18